

令和4年度

事業報告書の附属明細書

社会福祉法人川越市社会福祉協議会

令和4年度事業報告書の付属明細書目次

1	社会福祉事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 法人本部拠点区分	
	(2) 地域福祉推進事業拠点区分	
	(3) 福祉基金拠点区分	
	(4) 共同募金配分金事業拠点区分	
	(5) ボランティアセンター事業拠点区分	
	(6) ファミリー・サポート・センター事業拠点区分	
	(7) 通所介護事業拠点区分	
	(8) 地域活動支援センター事業拠点区分	
	(9) 福祉サービス利用援助事業拠点区分	
	(10) 生活福祉資金貸付事業拠点区分	
	(11) 小口資金貸付事業拠点区分	
	(12) 相談事業拠点区分	
	(13) かわごえ友愛センター事業拠点区分	
	(14) 生活管理指導員等派遣事業拠点区分	
	(15) 盲人ガイドヘルパー派遣事業拠点区分	
	(16) 障害者虐待防止対策支援事業拠点区分	
	(17) コミュニティソーシャルワーカー事業拠点区分	
	(18) 介護支援いきいきポイント事業拠点区分	
	(19) 生活支援体制整備推進事業拠点区分	
	(20) 老人福祉センター西後楽会館事業拠点区分	
	(21) 総合福祉センター事業拠点区分	
2	公益事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54
	(22) 法人後見事業拠点区分	
	(23) 成年後見制度推進事業拠点区分	

【表記説明】

- ・ 「コ縮小」・・・新型コロナウイルスの影響で縮小した事業
- ・ 「コ中止」・・・新型コロナウイルスの影響で中止した事業

令和4年度事業報告書

1 社会福祉事業区分

(1) 法人本部拠点区分

① 事業運営体制の強化

ア 役員会等の充実

ア) 役員会等の開催

理事会 4 回、評議員会 3 回、評議員選任・解任委員会 2 回及び監査を開催した。

ア) 理事会

(開催回数 4 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 3 日	理事 10 監事 1	【議案】 議案第 1 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会経 理規程の一部を改正する規程を定める ことについて 議案第 2 号 令和 3 年度計算書類等について 議案第 3 号 令和 3 年度事業報告について 議案第 4 号 令和 4 年度第 1 回社会福祉法人川越市 社会福祉協議会評議員会の招集につい て 議案第 5 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評 議員選任・解任委員会の招集及び評議員 候補者の提案について
7 月 6 日	理事 13 監事 1	【議案】 議案第 6 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会副 理事長の選任について 議案第 7 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会理 事会部会員の選任について 議案第 8 号 令和 4 年度川越市社会福祉大会運営委 員会委員の選任について 議案第 9 号 川越市社会福祉協議会福祉基金運営委 員会委員の選任について 議案第 10 号 在宅福祉サービスセンター運営委員 会委員の選任について 議案第 11 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 小口資金貸付事業運営委員会委員の選 任について 議案第 12 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会

		評議員選任・解任委員会委員の選任について
1月18日	理事 13 監事 2	【議案】 議案第13号 令和4年度資金収支補正予算について 議案第14号 令和4年度第2回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の招集について 議案第15号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集及び評議員候補者の提案について
3月3日	理事 12 監事 1	【議案】 議案第16号 令和4年度資金収支補正予算について 議案第17号 令和5年度事業計画について 議案第18号 令和5年度資金収支予算について 議案第19号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会理事会部会員の選任について 議案第20号 川越市社会福祉協議会福祉基金運営委員会委員の選任について 議案第21号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会小口資金貸付事業運営委員会委員の選任について 議案第22号 役員等賠償責任保険の加入について 議案第23号 令和4年度第3回評議員会の招集について

① 評議員会

(開催回数3回)

開催日	出席者数	議 題 等
6月21日	評議員 33 監事 1	【議案】 議案第1号 令和3年度計算書類等について 議案第2号 令和3年度事業報告について 議案第3号 令和4年度川越市社会福祉大会運営委員会委員の選任について 議案第4号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会役員の選任について
2月21日	評議員 21	【議案】 議案第5号 令和4年度資金収支補正予算について 議案第6号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会役員の選任について

3月16日	評議員 26	【議案】 議案第7号 令和4年度資金収支補正予算について 議案第8号 令和5年度事業計画について 議案第9号 令和5年度資金収支予算について
-------	--------	---

㊦ 評議員選任・解任委員会 (開催回数2回)

開催日	出席者数	議 題 等
6月9日	委員 2	【議案】 議案第1号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員の選任について(選任日から令和7年度定時評議員会の終結の時まで)
1月24日	委員 3	【議案】 議案第2号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員の選任について(選任日から令和7年度定時評議員会の終結の時まで)

㊧ 監事による監査 (開催回数1回)

開催日	出席者数	監 査 事 項
5月26日	監事 2	(1)令和3年度業務監査について (2)令和3年財務監査について

(イ) トップセミナー等の研修会の実施(コ中止)

理事・監事・評議員を対象に研修会を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(ウ) 諸規程等の整備

本会の運営基盤の強化や法人ガバナンスの確保、リスク管理体制の強化を図るため諸規程の改正等を行った。

	制定	一部改正
件 数	8件	11件

(エ) 事業継続計画(BCP)の訓練

通常の業務執行が困難となるような大規模災害や感染症等の流行時においても、重要な業務を中断させず又は必要なレベルで継続し、早急に復旧することができるようBCPを策定した。令和5年3月10日(金)には、事業継続計画(BCP)に基づく初動訓練を行った。

また、災害発生時の初動対応を速やかに開始するために、参集基準マニュアルを策定した。

イ 第五次川越市地域福祉活動計画の推進

本会ホームページで継続的に活動計画の周知を行った。

また、活動計画の進行管理を行うとともに地区社協の会議等で地区別福祉プランの進行管理を行った。

なお、川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会と併せて本会地域福祉活動推進委員会を開催し、活動計画の進捗状況等を報告した。

開催日：令和4年10月11日(土)

出席者：16人

ウ 川越市財政援助団体等監査の受検

令和5年1月27日(金)、「出納及びその他の事務の執行状況」を監査重点項目とした「川越市助成援助団体等監査」を受けた。

監査の結果、社会福祉法の一部改正、社会福祉法人会計基準の改正に併せて、定款と経理規程等、諸規程の改正等を行いおおむね適正に運用されていたという評価だった。

② 財源の確保

ア 社協会員加入の促進

社協会員募集については、普通会员1口300円、特別会員1口1,000円、賛助会員1口5,000円以上でお願いした。社協会費の使い道などをチラシに掲載するとともに、各地区社協の会議等に出席し説明を行い社協会費加入の促進を図った。

区 分	令和4年度		参考(令和3年度)	
	加入世帯数等	会費収入(円)	加入世帯数等	会費収入(円)
普通会員	42,585世帯	14,791,268	45,647世帯	15,431,202
特別会員	1,782人	1,891,500	1,672人	1,792,600
賛助会員	235件	1,335,000	256件	1,458,000
合 計		18,017,768		18,681,802

イ 一般寄付金の受入れ

市民の方や事業所、団体等から地域福祉活動への活動資金として寄付金をいただいた。また、新たな寄付の方法などを検討した。

	令和4年度	参考(令和3年度)
件 数	53件	59件
金 額	3,092,268円	12,283,952円

③ 広報活動の強化

ア 社協だよりの発行

社協だよりを6回発行し全戸配布した。

総部数 1,004,193部

号数	発行日	号数	発行日
239号	6月1日	242号	12月1日
240号	8月1日	243号	2月1日
241号	10月1日	244号	4月1日

イ 声の社協だよりの配布

ボランティアグループ「オアシス音訳サークル」の協力により、毎号デジタル図書CDを作成し10名の利用者に配布した。新型コロナウイルス感染症の影響により音訳活動の休止があったので、本会職員が専用ソフトを使用し対応した。

ウ 社会福祉協議会ホームページでの情報発信

福祉情報の提供や活動の報告を行っている。また、各課でホームページのお知らせ機能を活用して、周知すべき情報について発信した。

	令和4年度	参考（令和3年度）
アクセス数	127,505件	142,834件

エ SNSの活用

地域に関する情報、ボランティアの活動、イベントや助成金に関する情報などは、ホームページ、Facebook、Twitter等のSNSに投稿し周知した。

また、新たにInstagramのアカウントを作成し、運用を開始した。部署によっては、個別のLINEアカウントを作成し、情報発信した。

オ 川越市社会福祉大会の実施（コ縮小）

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して、表彰及び感謝の意を表すとともに地域福祉の強化や市民参加によるボランティア活動の推進を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら式典を執り行った。

・テーマ：「人と人とのつながりを深め だれもが自分らしく いきいきと暮らせるまち 川越」

・会場：川越市やまぶき会館

・参加者数：234人

・大会会長表彰 71人、8団体

・大会会長感謝 80人、9団体

・その他 2人、0団体

・大会アトラクション（講演会）

テーマ：ケアラー・ヤングケアラーの現状と支援の在り方

発表者：日本女子大学名誉教授・一般社団法人日本ケアラー連盟代表
理事 堀越 栄子 氏

④ 職員力の向上

ア 総合的な研修体系の検討

県社協等が開催する研修について、受講の必要性を検討し職員に階層別研修や専門的研修を受講させ、職員の資質向上に努めた。また、内部研修としては、職務を通じた育成（OJT）を中心に行い、個々の職員の自己啓発の支援も行った。

(ア) 外部研修等

・ 県外研修

名	称	参加者
第 58 回関東ブロック都市区町村社協同研修研究協議会		2
さわやか福祉財団	ささえあいサミット	1
国際福祉機器展		1
社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務研修		1
ヤングケアラー支援方策	実態の把握と自治体の支援 体系・手法	1
「災害 VC マネジメント研修会」	モデル研修	1
第 8 回地域福祉推進プラットフォーム		1

・ 県内研修

名	称	参加者
埼玉県生活支援コーディネーター基礎研修		1
埼玉県ヤングケアラー支援推進協議会		1
キャリアパスのファシリテーター研修		1
令和 4 年度入間市災害ボランティアセンター立ち上げ運営 訓練視察		1
キャリアパスのファシリテーター研修		1
埼玉県食のセーフティーネット会議/埼玉県 SC 視察研修会		1
令和 4 年度入間市災害ボランティアセンター立ち上げ運営 訓練視察		2
こどもの居場所づくりセミナー		2
令和 4 年ボランティアコーディネーター現任研修		1
SC ファシリテーター研修		3

(イ) オンライン研修

名	称
財務管理者研修マスターズ	
コンプライアンス研修	
労務管理者研修	
管理者キャリアパス研修	
高齢者の看取りケア研修	
財務管理者研修	
はじめての仕事研修～学生から社会人へのワンステップ～	
初任者キャリアパス研修	
接遇研修	
中堅職員キャリアパス研修	

人事管理者研修
初任者のための文書作成・報告のしかた研修
ハラスメント防止研修
話し方・折衝・交渉力向上研修
チームリーダーキャリアパス研修
福祉現場のための人事考課研修
レクリエーション研修（高齢）
虐待防止研修（知的障害者施設向け）
社会福祉施設災害研修～平時の備えから有事の対応力強化を目指して～

（※他事業の研修会と一部再掲あり）

ウ) 情報の共有化

㊦ 職員間の情報の共有化

情報を共有するため、会議の会議録等を開示して共有した。

- ・課長会議 24回/年（月2回実施）
各課の課題共有や連絡調整、運営方針の決定などの話し合いを行った。
また、広報強化につながる体制づくりに取り組んだ。
- ・リーダー会議 12回/年（月1回実施）
事業スケジュールの調整や各種事業の進捗状況の共有などを行った。
- ・研修参加者の復命
研修等に参加した職員の研修内容をまとめた報告書を、グループウェアで公開した。

㊧ 労務管理機能（衛生委員会、産業医の巡視及び健康相談）の強化

- ・衛生委員会 12回/年（月1回実施）
毎月定期的に開催し、職場環境の改善や職員の健康維持増進などについて話し合いを行った。
また、令和4年度は、ワークライフバランスアンケートを実施した。
- ・産業医 毎月1回、職場の巡視及び健康相談を実施した。

㊨ 埼玉県市町村社協連絡会入間第3ブロック連絡会への参加

- ・開催日：令和4年11月25日
- ・会場：狭山市社会福祉会館
- ・内容：新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、昨年度に引き続き参加対象を総務担当に限定し、労務管理のポイントについて学ぶとともに、近隣社協間における担当職員同士の交流を図った。
- ・講師：社会保険労務士 荘司 八恵子 氏
- ・参加者：3人

㊩ 第58回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

- ・開催日：令和4年7月7日、8日
- ・会場：ホテルグリーンタワー幕張
- ・内容：基調講演

「社協職員として地域の人に何ができるか」

講師 東洋大学 社会学部 社会福祉学科 加山 弾 氏
・参加者：2人

⑤ 各種事業の実施

ア こども居場所づくりの支援（小江戸こどもサポーターズ）

市内の子どもの居場所づくり活動団体及び今後活動予定のある団体及び個人を対象に、日々の活動状況など情報交換を行う交流会を開催した。

- ・開催日：令和4年8月26日（金）
会 場：ウェスタ川越
参加者：18人（内訳：11団体・個人2人）
- ・開催日：令和5年2月22日（水）
会 場：ウェスタ川越
参加者：27人（内訳：19団体・個人1人）

イ ケアラー・ヤングケアラーの支援

地区民児協の会議で周知啓発を行うとともに、民生委員や教員などの支援者を対象に、フォーラム及びセミナーを開催した。

- ・「ケアラー・ヤングケアラー支援推進フォーラム」
開催日：令和4年8月22日（月）
会 場：ウェスタ川越
参加者：58人
- ・「ケアラー・ヤングケアラー支援推進セミナー」
開催日：令和5年2月27日（月）
会 場：ウェスタ川越
参加者：34人

ウ 地区社協会長連絡会の開催

各地区社協会長と各地区社協事業の促進に向け情報交換を行った。

開催日	内 容
5月17日	第1回 (1) 会長連絡会役員を選任について ① 会長（1人）の選任について ② 副会長（2人）の選任について (2) 役員等の選出について ① 市社協理事及び評議員の選出について ② 歳末たすけあい援護金配分委員会委員の選出について ③ 在宅福祉サービスセンター運営委員会委員の選出について (3) 地区社協の周知活動について (4) 地区社協事業について

8月17日	第2回 (1) 地区社協啓発用チラシ作成の会計報告について (2) 地区社協活動促進事業について
3月14日	第3回 (1) 各委員の選出について ① 社会福祉法人川越市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員の選出について ② 川越市社会福祉協議会福祉基金運営委員会委員の選出について (2) 令和5年度地区社協活動促進事業について

エ 各種団体への助成

地区社協、市民児連や障害者団体等の各種団体に地域福祉活動を進めるための事業活動費を助成した。

	令和4年度	参考（令和3年度）
件数	14件	13件
金額	15,132,765円	15,109,356円

オ 埼玉県共同募金会川越市支会の運営

埼玉県共同募金会川越市支会の事務局業務を行った。

カ 社会を明るくする運動への協力

社会を明るくする運動に協力し啓発活動を行った。

キ 実習生の受入れ

社会福祉士養成のための相談援助実習として、大学生の実習生を受け入れた。

- ・上智大学 1人
- ・日本社会事業大学 1人
- ・西武文理大学 1人
- ・立正大学 1人
- ・文教大学 1人

ク 福祉団体事務局

各団体の事務局運営

- ・川越市民生委員児童委員協議会連合会
- ・川越市障害者団体連絡協議会
- ・川越市身体障害者福祉会連合会
- ・川越市老人クラブ連合会
- ・川越市遺族会

- ・川越市在宅介護者友の会
- ・川越市ボランティア連絡会

ケ 被災地への職員派遣

埼玉県社協との「災害時相互支援に関する協定書」に基づき、被災地へ職員を2人派遣した。

【令和4年9月台風19号被害に伴う災害ボランティアセンター運営支援】

派遣先：静岡市社協（静岡市清水区）

- ・1回目

派遣期間：令和4年10月12日(水)～16日(日)

派遣人数：1人

- ・2回目

派遣期間：令和4年10月24日(月)～28日(金)

派遣人数：1人

(2) 地域福祉推進事業拠点区分

① 戦没者追悼事業の実施

ア 春季戦没者追悼式

令和4年4月12日に開催した春季戦没者追悼式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し実施した。

イ 秋季戦没者追悼式

(ア) 本庁管内地区戦没者追悼式

開催日：令和4年12月19日（月）

会 場：ウェスタ川越

参列者：41人

(イ) 市民センター管内地区戦没者追悼式

開催日：令和4年9月～12月の間

会 場：地区毎に実施

② 在宅高齢者等給食サービス事業の充実

一人暮らし高齢者等の健康の保持、安否の確認や交流を行いながら在宅の生活を支える給食サービス事業を行った地区社協に対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 15の地区社協

地区社協	食数	種別	回数	対象者	給食調製方法	助成額（円）
第1地区	701	配食	48	30	買上げ (社会福祉施設)	259,370
第7地区	364	配食	3	111	買上げ	123,210
第9地区	2,280	配食	12	190	買上げ	843,600
第10地区	1,320	配食	24	55	買上げ (社会福祉施設)	488,400
第11地区	571	配食	9	70	買上げ (社会福祉施設)	207,200
芳野地区	275	配食	12	22	買上げ (社会福祉施設)	101,750
古谷地区	20	会食	1	20	手作り	7,400
南古谷地区	814	会食 配食	18	45 50	買上げ (社会福祉施設)	301,180
高階地区	2,590	配食	12	225	買上げ	956,450
福原地区	600	配食	12	50	買上げ (社会福祉施設)	222,000
霞ヶ関地区	744	配食	24	48	買上げ (社会福祉施設)	275,280

霞ヶ関北 地 区	304	配食	12	45	買上げ	112,480
名細地区	2,771	配食	12	250	買上げ	1,025,270
山田地区	401	配食	10	50	買上げ	148,370
川鶴地区	214	配食	3	70	買上げ	77,700
合 計	13,969			1,331		5,149,660

③ プラン事業の促進

- ・ 第1地区社協

いもっこ体操教室（各自治会館）

毎月1回実施 参加者：延べ444人

- ・ 第2地区社協

いもっこ体操・介護予防教室（石原町公民館、六塚会館、仲町自治会館、幸町自治会館）

毎月1～2回実施 参加者：延べ70人

- ・ 第4地区社協

いきいき体操・絵手紙教室、ガラスアート（大手町自治会館、三久保町自治会館、松江一丁目自治会館、松江町二丁目自治会館、元町一丁目自治会館、伊佐沼新町自治会館）

毎月1回実施 参加者：延べ1,000人

- ・ 第5地区社協

いもっこ体操、体力測定、講話

（小仙波町自治会集会所）

毎月2回実施 参加者：延べ386人

- ・ 第6地区社協

いもっこ体操、介護予防教室

（脇田町会館、クラッセ、蔵里）

毎月1～2回実施 参加者：672人

- ・ 第7地区社協

いもっこ体操、リズム体操等（各自治会館）

毎月1～2回実施 参加者：106人

- ・ 第8地区社協

いもっこ体操（岸町一丁目自治会館、岸町二丁目自治会館、岸町三丁目自治会館）

毎月2回実施 参加者：700人

- ・ 第9地区社協

いもっこ体操、リズム体操等（旭町1丁目自治会集会所）

毎月4回実施 参加者：延べ433人

- ・ 第10地区社協

友愛訪問事業のサポートとして見守り活動等を実施

参加者：延べ100人

- ・第11地区社協

いもっこ体操、健康講座（各自治会館）

毎月1～2回実施 参加者：3,845人

- ・芳野地区社協

いもっこ体操（谷中集落センター、石田本郷集会場、西門集会場、鴨田中内路集会場、山田集会所）

毎月1～2回実施 参加者：延べ834人

- ・南古谷地区社協

いきいきサロン（各自治会館）

毎月1回実施 参加者：延べ2,694人

- ・名細地区社協

ふれあいサロン、いもっこ体操（住友あおい自治会館、みどり会自治会館、下広谷北自治会館、みよしの自治会館）

参加者：延べ953人

- ・山田地区社協

おしゃべりサロン（府川自治会館等）

毎月1回実施 参加者：120人

(3) 福祉基金拠点区分

基金等効率的な資産の運用

基金積立総額：255,863,229 円

ア 資金運用

理事会で資金運用規程、資金運用方針を定め、国債等で運用した。

- ・ 利付国債第 333 回 (10 年) 40,000,000 円<H26.3 購入> 継続中
- ・ 共同発行市場公募地方債189 回(10 年)40,000,000 円<H30.12 購入>継続中
- ・ 利付国債第 174 回 (20 年) 98,724,880 円<R3.2 購入> 継続中

イ 運用益の活用

- ・ 運用益 724,000 円
- ・ 運用益活用額 0 円

(4) 共同募金配分金事業拠点区分

埼玉県共同募金会から令和4年度配分金として24,710,000円（一般募金配分金9,386,000円、歳末募金配分金15,324,000円）の配分を受けた。

① 一般募金配分金事業

ア 川越市社会福祉大会の実施（コ縮小） 【再掲】

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して、表彰及び感謝の意を表すとともに地域福祉の強化や市民参加によるボランティア活動の推進を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら式典を執り行った。

・テーマ：「人と人とのつながりを深め だれもが自分らしく いきいきと暮らせるまち 川越」

・会場：川越市やまぶき会館

・参加者数：234人

・大会会長表彰 71人、8団体

・大会会長感謝 80人、9団体

・その他 2人、0団体

・大会アトラクション

テーマ：ケアラー・ヤングケアラーの現状と支援の在り方

発表者：日本女子大学名誉教授・一般社団法人日本ケアラー連盟代表
理事 堀越 栄子 氏

イ 社協だよりの発行 【再掲】

社協だよりを6回発行し全戸配布した。

総部数 1,004,193部

号数	発行日	号数	発行日
239号	6月1日	242号	12月1日
240号	8月1日	243号	2月1日
241号	10月1日	244号	4月1日

ウ 子育てサロンまっりの開催

川越市民生委員児童委員協議会連合会主任児童委員部会と共催で、子育てサロンまっりを開催した。

開催日：令和4年10月24日（月）

会場：総合福祉センター2階体育室

参加者：76人

エ 地区別福祉懇談会の開催及び支援

地区社協で開催した地区別福祉懇談会において、災害時や一人暮らし高齢者等の支え合い、助け合い活動について及び地区別福祉プランの評価等についての話

し合い等の開催を支援した。

地 区	開催日	会 場	人数
第 6 地区	12月20日	脇田町会館	32
第 11 地区	2月22日	新宿町5丁目自治会集会所	35
芳 野 地区	7月12日	芳野公民館	30
南古谷地区	12月21日	東部地域ふれあいセンター	51
高 階 地区	7月27日	寺尾自治会館	27
	2月25日	熊野町集会所	22
大 東 地区	12月、2月	大東市民センター（コ中止）	-
名 細 地区	2月3日	名細市民センター	86
川 鶴 地区	10月22日	川鶴公民館	27
合 計	7地区、8回	8か所	310

オ 福祉協力員等の支援

地域福祉の更なる充実を図るため、地区社協が福祉協力員及びボランティアの育成を行うとともに、福祉協力員を登録し、日常的な見守り活動と地域福祉支援体制づくりを推進していく活動等の支援と助成を行った。

- ・福祉協力員数：370人
- ・実施地区社協

（補助金：1会場につき15,000円、活動事務費として年5,000円）

地区社協	開催日	内 容
第11地区	9月13日	人生会議講座
	10月28日	市社協と地区社協の関わりについて ボランティア活動について
南古谷地区	1月12日	福祉協力員の役割と意義について
	2月2日	災害時の福祉協力員の役割について
	3月2日	マイ・タイムライン作成について
大東地区	通年	自治会内で見守り活動及び安否確認の推進
名細地区	11月10日	救急医療の取組について 暮らしやすい地域づくりに向けて
川鶴地区	9月10日	地域活動のすすめ

カ 地区社協還元金

地区社協活動を推進する事業活動費として、赤い羽根共同募金の実績額に応じた配分金を地区社協に助成した。

	令和4年度	参考（令和3年度）
金 額	4,766,500円	4,909,000円

キ 一人暮らし高齢者集い事業の促進

地域において、温かな人間関係とともに生きるコミュニティづくりを促進するため、高齢単身者と地区社協、自治会、民生委員児童委員、ボランティア等がふれあう事業に対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 12 の地区社協（補助金：一人につき 1,000 円）

地区社協	開催日	参加者 (人)	地区社協	開催日	参加者 (人)
第 2 地区	12 月 3 日	21	南古谷地区	10 月 27 日	23
第 3 地区	9 月 10 日	25	高階地区 (寺尾)	9 月 4 日	21
第 4 地区	3 月 12 日	82	高階地区 (五ツ又)	9 月 17 日	30
第 5 地区	11 月 12 日 11 月 23 日	(コ中止)	高階地区 (稻荷町)	11 月 2 日	25
第 7 地区	9 月 3 日	131	福原地区	3 月 6 日	(コ中止)
第 9 地区	10 月～2 月	134	大東地区	10 月 27 日	(コ中止)
第 10 地区	11 月 13 日 11 月 17 日 11 月 19 日 11 月 20 日 11 月 23 日 11 月 24 日 ～30 日 11 月 30 日	200	名細地区	7 月～3 月	114
第 11 地区	9 月 19 日	404	川鶴地区	12 月 13 日	40
芳野地区	6 月 14 日 11 月 18 日	31			

ク 緊急連絡カード事業

近隣助け合い見守り活動の推進事業のひとつとして、65 歳以上の一人暮らしの方を対象とした緊急対応のシステムづくりの普及に努めた。

・実施 22 の地区社協 (単位：人)

地区社協	対象者	地区社協	対象者	地区社協	対象者
第 1 地区	318	第 2 地区	87	第 3 地区	377
第 4 地区	118	第 5 地区	211	第 6 地区	201
第 7 地区	365	第 8 地区	82	第 9 地区	245
第 10 地区	168	第 11 地区	181	芳野地区	11
古谷地区	112	南古谷地区	169	高階地区	925

福原地区	375	大東地区	471	霞ヶ関地区	335
霞ヶ関北地区	367	名細地区	534	合 計	5,865
山田地区	141	川鶴地区	72		

ケ 見守りマップ作成の支援

一人暮らし高齢者や障害のある方等の要援護者を把握する要援護者マップを整備した。

コ 法外援護旅費の補助

内 容	件 数	金額（円）
補 助	3	1,500

サ 地域福祉活動の支援

ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動としての地域福祉活動を支援することを目的として、地域福祉活動支援補助金を交付した。

- ・ 交付団体：29 団体
- ・ 総交付額：1,297,300 円

シ 世代間交流事業の促進

地域住民の希薄になりがちな人間関係に対し、各世代がお互いにふれあうことで理解と思いやりの心を醸成し、住みよい福祉のまちづくりを目的とした活動に助成し、世代間交流を促進した。

- ・ 実施 9 地区社協（補助金：1 地区 50,000 円／年間）

地区社協	開催日	内 容（ ）は開催場所	参加者
第 1 地区	10 月 15 日	子供神輿（神明神社境内広場）	380 人
第 5 地区	3 月 13 日	グランドゴルフ大会（コ中止）	-
第 7 地区	4 月 20 日	パトロール（仙波町全域）	延べ 346 人
	6 月 18 日	学習支援（仙波町一丁目自治会館）	
	10 月 2 日	芋掘り（山田園）	
	12 月 11 日	年末掃除（町内全域）	
第 9 地区	3 月 15 日	パトロール（仙波町全域）	-
	8 月	盆踊り（コ中止）	
	10 月 14 日、 15 日	川越祭り（各自治会館、公園、町内道路）	
第 11 地区	11 月 19 日	地域ふれあいまつり（新宿小学校）	1,500 人
芳野地区	5 月 30 日	グランドゴルフ（鹿飼公園）	延べ 474 人
	7 月 17 日	集会所清掃（谷中集会所）	

	7月25日 ～8月5日 7月17日 7月29日 7月31日 10月30日 10月30日 10月30日 12月27日	ラジオ体操（谷中集会所） 清掃（山田集会所） 夕涼み会（大下集会所） 清掃（中老袋自治会館） ごみゼロ運動（北田島自治会センター前） 清掃活動、ハロウィン（上菅間集会所） ごみゼロ運動（中老袋自治会館） 忘年会（大下集会所）	
高階地区	7月30日 31日	夏の大感謝祭（高階南小学校校庭）	2,000人
大東地区	1月8日	餅つき（西福寺境内、菅原神社）	延べ220人
名細地区	12月4日	ふれあいスポーツ大会（広谷小学校）	64人
川鶴地区	11月19日	脳トレ交流（川鶴公民館）	45人

② 歳末たすけあい配分金事業

ア 歳末たすけあい援護事業の実施

(ア) 歳末たすけあい援護金配分委員会の開催

令和4年7月5日（火）

(イ) 要援護世帯等への慰問事業の実施

在宅の要援護世帯、市内民間福祉施設へ援護金を贈り激励した。

種別		基準額 (円)	対象者数 (人)	配分額 (円)
要援護世帯	低所得世帯	10,000 +世帯人数加算 +証明書類手数料	92	1,042,500
	重度要介護高齢者	2,000	107	214,000
	重度障害児者	2,000	2,552	5,104,000
市内民間福祉施設		20,000	46施設	920,000
合計			2,797	7,280,500

イ 社協だよりの発行 【再掲】

社協だよりを6回発行し全戸配布した。

総部数 1,004,193部

号数	発行日	号数	発行日
239号	6月1日	242号	12月1日
240号	8月1日	243号	2月1日
241号	10月1日	244号	4月1日

ウ 福祉の市「地域共生ふれあい広場」の開催

市内福祉施設の活動及び地域住民が主体となり支え合い活動や居場所づくりなどの福祉活動を市民へ周知啓発する機会を設け、社会福祉事業への理解を深めるとともに、高齢者や障害者の製作品等を展示及び販売することで、施設利用者の制作意欲と生きがいを高め、社会参加の場を拡大するために開催した。

- ・開催日：令和4年11月20日（日）
会 場：ウェスタ川越 交流広場

エ 在宅介護者リフレッシュ事業の実施支援

在宅介護者の方に心身のリフレッシュ等を図ることを目的とした川越市在宅介護者友の会の事業に対して、実施支援を行った。

- ・日帰り旅行
開催日：令和4年11月25日（金）
場 所：飯能市能仁寺 等
- ・介護研修会やサロンを定期的の実施

オ 在宅障害児招待事業の実施

日頃、外出する機会の少ない障害児及びその家族を対象に、家族間の交流を深めるため芋ほり事業を開催した。

- ・開催日：令和4年11月3日（木）
会 場：山田園
参加世帯：115世帯

カ 友愛訪問事業の促進

地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、ボランティアや近隣住民が訪問活動を行うことにより、温かい人間関係を築き、共に生きるコミュニティづくりをするための活動に助成した。

- ・実施：21の地区社協（補助金：1地区 60,000円／年間）

地区社協	内 容
第1地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月1回） 11月⇒高齢者に使い捨てカイロの配付 12月⇒障害者に見舞金の配付
第2地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月1回）

	10月、3月に粗品を配布
第4地区	安否確認を兼ねて、バースデー訪問を実施しお茶菓子とバースデーカードを配布（月2回） 1月⇒お茶と手作り絵馬を配布
第5地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ、市や警察等への情報提供（月1回） 年2回粗品を配付
第6地区	安否確認、健康状態の把握、防犯への注意呼びかけ、市や警察等への情報提供（月1回）
第7地区	安否確認、健康状態の把握等（月1～2回） 年2回お茶パックを配布
第8地区	安否確認（月1回） 年3回情報交換会を実施
第9地区	安否確認、生活相談、防災・防犯への注意呼びかけ（月1回） 年2回おしゃべりサロン実施
第10地区	安否確認、健康状態・生活状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月1回） 年末年始にタオルを配付
第11地区	70歳以上一人暮らし高齢者を対象に訪問し安否確認（月1回） 年1回啓発品の配付
芳野地区	75歳以上の高齢者を対象に訪問し安否確認（月1回） 12月に生花を配布
古谷地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月1回） 12月、2月に記念品の配付
南古谷地区	安否確認、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月1回）
高階地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月1回）
福原地区	65歳以上の一人暮らし、高齢者夫婦、寝たきり高齢者等を対象に見守り（月1回）
大東地区	安否確認、健康状態の把握、生活相談、詐欺や防犯への注意呼びかけ等（月1回以上） 飲料水とお茶を配布
霞ヶ関地区	安否確認、健康状態の把握等（月1回）
霞ヶ関北地区	70歳以上一人暮らし高齢者を対象に近況等の確認、詐欺や防犯への注意呼びかけ（月1回）

	7月及び1月には粗品を配布
名細地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺への注意呼びかけ（月1回）
山田地区	一人暮らし高齢者、重度障害者、寝たきり高齢者を対象に安否確認、健康状態の把握等（月1回） 歳末見舞品を配布
川鶴地区	訪問、電話連絡や手紙による安否確認（月1回） 7月及び8月は、お茶を配布して熱中症予防の呼びかけ 12月及び1月は、お菓子とお茶を配付 5月、10月、1月は、友愛訪問を兼ねた配食を実施

キ 親子リフレッシュ事業及び地域ふれあい事業

市内の子ども食堂等運営団体の支援対象世帯、埼玉育児院の入所児童及び市立特別支援学校の生徒を対象に魚釣り体験を実施し、親子の絆や地域交流を深めた。

なお、事業の開催にあたり、公益財団法人日本釣振興会及び学生ボランティアの協力を得た。

- ・開催日 令和5年3月26日（日）、28日（火）
- ・会場 川越水上公園
- ・参加人数 140人（内訳 26日68人・28日72人）

ク 見舞い激励事業の実施

火災等による被災世帯への見舞い事業の実施

種別	件数	金額（円）	種別	件数	金額（円）
全焼	4	80,000	水損	2	20,000
半焼	1	10,000	死亡	0	0
半壊	0	0	合計	7	110,000

(5) ボランティアセンター事業拠点区分

① 福祉教育の推進

ア 福祉教育指導者との連携

(ア) 市内小中学校への福祉体験学習への協力

車いすの介助や盲人ガイド、手話、点字等の実技及び福祉講話を通じて、障害者や高齢者への理解を深め、地域福祉の担い手となる次世代へ社会福祉意識の高揚を図った。

〈実施学校数〉

・小学校 24校 ・中学校 3校 ・高等学校 2校

(内訳)

㊦ 福祉体験実技への講師の派遣

・小学校 延べ 34回 参加者 2,983人
・中学校 延べ 2回 参加者 260人
・高等学校 延べ 1回 参加者 20人

㊧ 福祉講話への講師の派遣

・小学校 延べ 18回 参加者 1,616人
・中学校 延べ 3回 参加者 429人
・高等学校 延べ 3回 参加者 290人

(イ) 福祉体験学習ボランティア意見情報交換会の開催

ボランティア活動者、ボランティアアドバイザー、教員等がそれぞれの活動への想いや意見を交換し、情報の共有を図った。

・実施日 令和4年9月6日
・参加者数 22人

(ウ) 福祉教育に関する実態調査の実施

市内の市立小中学校・高等学校55校を対象に、福祉体験学習・ボランティア学習等に関する実態調査を行った。

・実施期間 令和4年7月2日～8月26日
・回答数 43校 (回答率78.2%)

(エ) 認知症サポーター養成講座

認知症高齢者やその家族を支援する者の養成を目的に、市内小中学校と高等学校を対象に認知症に対する正しい知識の普及、啓発を行った。

〈実施学校数〉

・小学校 3校 ・中学校 1校 ・高等学校 1校

(内訳)

・小学校 3校 参加者 293人
・中学校 1校 参加者 76人
・高等学校 1校 参加者 42人

(オ) ボランティア体験学習への協力

地域や小中学校でのボランティア体験学習へ福祉機器の貸出しを行った。

機器等名称	保有数	件数	機器等名称	保有数	件数
アイマスク	77	0	高齢者疑似体験セット	15	13
白杖	28	19	福祉ビデオDVD	15	0
点字器	121	6	車椅子	18	21
				合計	59

② ボランティア活動の支援

ア ボランティア養成講座の充実

ボランティア活動を始めるきっかけ作りと地域で活躍できるボランティアを発掘、育成することを目的として各種講座を開催した。申込方法を従来の往復はがきに加え、電子フォームでも申込みできるようにした。

講座名	開催期間	回数	参加人数	延べ人数
聴覚障害者支援 ボランティア養成講座	令和4年9月3日～ 10月15日	7	10	48
点字ボランティア 養成講座	令和4年5月10日～ 7月19日	10	9	81
朗読ボランティア入門 講座	令和4年11月7日～ 11月28日	4	15	49
オンライン入門講座 フォローアップ座談会	令和5年2月3日	1	7	7
ボランティア入門講座	講義：令和5年3月2日	1	11	11
	体験：令和5年3月6日～ 3月24日	7	9	10

イ ボランティア体験プログラム等の実施

(ア) ボランティア体験プログラム

学生の福祉への関心を高めることを目的に、自宅での制作活動や地域での交流体験（子ども食堂や環境ボランティア団体）等のボランティア活動を実施した。また、コロナ禍の状況でも受入可能な施設でのボランティア体験も再開した。施設からの活動者へのメッセージを社協ホームページに掲載した。

- ・期 間：令和4年7月23日～9月30日 73日間
- ・対 象：市内在住、在学の小学校4年生以上の学生
- ・参加者数：延べ 372人、実人数 144人

参加者延べ数内訳：制作活動 279人、寄付活動 14人、美化活動 7人
施設での体験 57人、地域での交流体験 15人

- ・プログラム数：33施設、7団体、62メニュー

- (イ) 車椅子親子交流体験（コ中止）
- (ウ) ボッチャ親子交流体験（コ中止）
- (エ) 「ワークキャンプ」の実施（コ中止）

ウ ボランティアセンター、ボランティアビューローの充実
安心してボランティアができる環境づくり

- ・ボランティアアドバイザーの配置（コ縮小）

名称	人数	勤務日	時間	勤務形態	開設日数
ボランティア室	5	火・水・金・土	10時 ～ 15時	2人制 交代 勤務	199日
ビューロー西	4	水・土			99日
ビューロー南	5				99日
ビューロー保健センター	5	水・金			99.5日

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、縮小開設となった。

エ ボランティアリーダーの養成

ボランティアアドバイザー定例会

各ボランティアビューローのボランティア情報の共有や相談業務の課題について意見交換を行った。

- ・開催日：毎月最終月曜日

オ ボランティア登録の促進

(ア) ボランティア相談、登録、調整等の推進

- ・ボランティア登録者

種別	登録数	前年比
グループ（会員数）	152 団体（2,787 人）	+4 団体（+112 人）
個人	223 人	+8 人

- ・活動希望者の相談業務の実施

区分	ビューロー ボランティア 室	ビューロー 西	ビューロー 南	ビューロー 保健センター	合計
活動相談（件）	230	64	40	41	375
派遣相談（件）	1,922	194	288	558	2,962
派遣状況（人）	951	963	210	209	2,333

(イ) 学習会、研修会の開催

- ㊦ ボランティアビューロー視察研修の実施（コ中止）

- ㊧ 各ボランティアビューロー登録ボランティア学習会及び交流会の開催（コ縮小）

ボランティアビューロー西（登録ボランティア交流会）

- ・開催日 令和4年4月15日

- ・参加者 11人

(ウ) 施設とボランティアアドバイザーとの意見交換会の開催（コ縮小）

ボランティアビューロー南

- ・開催日 令和4年6月24日
 - ・参加施設数 5施設
- ボランティアビューロー西（アンケート調査の実施）
- ・調査期間 令和4年12月1～12月14日
 - ・回答数 26施設（回答率54.2%）

（五）その他環境の整備

- ⑦ 登録ボランティアグループ活動費の助成
 - ・助成グループ数：15グループ
 - ・助成金額：220,680円

※算出方法（@380円×会員数）+ 10,000円／グループ
- ⑧ ボランティア活動保険の加入促進
ボランティア活動中の事故に備え、保険への加入促進を行った。
 - ・加入者数：3,350人
 - ・事故報告：8件
- ⑨ ボランティア行事用保険の加入受付
ボランティア団体等の主催の行事中の事故に備えた保険の加入の受付等を行った。
 - ・加入受付：172件
 - ・事故報告：3件

③ 社会貢献活動等の促進

ア ボランティア活動における学校との連携

学生のボランティア活動について市内の高校と連携し、ボランティア情報の周知、活動依頼の調整を行った。

- ・学校数 2校
- ・活動者数 延93人

イ 企業等からの物品寄付の受付、相談

企業等からの食料品や日用品等の物品寄付の相談、受付、寄付物品の活用先等を調整した。

- ・受付件数 77件

④ 災害に備えた支援

ア 市内団体との協定

災害発生時、災害ボランティアセンターの運営体制等を整え、迅速に復興支援活動に繋げるため、協定を締結した。

災害時等における協力体制に関する協定の締結

- ・締結先 公益社団法人川越青年会議所
- ・内容 災害ボランティアセンターの運営に係わる人員の派遣や資機材の提供、被災地支援のボランティア参加等

・締結日 令和4年8月8日

イ 災害ボランティア登録制度の整備

- ・募集開始日 令和5年2月1日
- ・申込数 個人11人 / 2団体

ウ 人間ブロック内市町村社協災害ボランティアセンター担当者の情報交換

近隣市町村社協で災害発生時における、災害ボランティアセンターの運営や復興に向けた生活支援等での広域連携を図るため、情報交換、研修を行った。

内容	実施日	参加社協	参加人数
座談会	令和4年9月27日	14社協	21人
研修	令和5年2月21日	25社協	43人

エ 災害ボランティアセンター運営のための備品等の整備

災害時において円滑に災害ボランティア活動ができるように、備品を整備した。

【スタッフ50人及びボランティア400人分を想定】

ヘルメット、防じんマスク、ゴーグル、ボランティア用ベスト、トランシーバー、一輪車、ポータブル電源など 約2,000点

(6) ファミリー・サポート・センター事業拠点区分

ファミリー・サポート・センター事業の実施

会員相互による育児の援助活動を促進することにより、仕事と育児を両立できる環境の整備を行うとともに、地域における子育て支援を図り、児童及び勤労者等の福祉の増進を図った。

ア 会員加入の促進

- ・入会説明会の実施 随時

イ 援助活動の充実

- ・提供会員講習会の開催 2回
受講者数：16人
登録者数：23人（前年度、未受講項目があり今年度受講して修了した人数も含む）
- ・子育て支援交流会の開催 1回
参加者数：8人
- ・フォローアップ講習会 2回
受講者数：5人
- ・会報誌の発行 1回（7月）

ウ 新型コロナウイルス感染予防への対応

コロナ禍における会員等の来訪に対して、飛沫感染防止パネル、非接触式検知器等の備品設置の継続

エ 会員の登録状況

会員別	登録者数	前年比
提供会員	471	5
依頼会員	1,191	△61
両方会員	27	△8
合計	1,689	△64

オ 援助活動の状況

会員別	実活動/実利用数	前年比
提供会員（実活動）	105	△5
依頼会員（実利用）	156	△15
両方会員（実活動）	4	1
（実利用）	0	△1

- ・派遣回数：5,365回 派遣時間：4,187時間34分

カ 援助活動内容

援助活動内容	回数
保育所、幼稚園の登園前の預かり	10
保育所、幼稚園の送り	68
保育所、幼稚園の迎え	387
保育所、幼稚園の帰宅後の預かり	352
学童の放課後の預かり	5
放課後児童クラブ終了後の迎え	605
放課後児童クラブ終了後の預かり	464
子どもの習い事等の場合の援助	1,842
保育所、学校等休み時の援助	109
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	77
保護者等の求職活動中の援助	0
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	4
保護者等の買い物等外出の場合の援助	99
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	6
他施設への送り	442
学童の留守宅送り	713
学童の朝の送り	97
在宅保育の援助	85
合 計	5,365

(7) 通所介護事業拠点区分

① 通所介護事業の実施

介護保険の要介護認定で要介護状態及び要支援状態に認定された高齢者等に対して、その有する能力に応じて自立した日常生活ができるよう、機能訓練、日常生活上の世話、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

また、新規利用者に関する家庭訪問及び利用者家族等への生活状況の聞き取りなど利用者の機能回復や利用ニーズの把握に努めた。

さらに、近隣の包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院等へ当事業所の取り組み内容など積極的に周知活動を行い利用者の増員に努めた。

ア 利用状況

実利用者数：70人 延べ利用者数：3,959人

	介護予防・日常生活総合事業通所型サービス			通所介護事業					合計
	事業対象者	要支援		要介護					
		1	2	1	2	3	4	5	
延べ利用者数	275	166	268	1,289	1,039	740	54	128	3,959
新規利用者数	5	5	4	7	4	0	2	2	29

イ 通所介護事業の推進と他事業所との連携及び事業周知の強化

- ・包括支援センターケア会議等への参加や介護支援専門員との情報共有
くらすぐりの会：6回(5/18、7/21、9/15、11/18、1/9、3/16)
- ・利用者の担当介護支援専門員等との情報共有については、月1回以上介護支援計画等、適宜利用者の状況等について電話やファックスにより情報の共有：利用者70人
- ・市内病院、老人保健施設、居宅介護事業所等への周知活動：4施設

ウ 研修会の実施及び参加

介護技術の習得、専門性の確保を目的に外部研修や職員間で研修を行った。

名 称	参加者
ワイズマンタブレット研修	14
レクリエーション(高齢者) オンライン研修	13
高齢者詐欺被害について研修	2
B C P 研修	1
職員研修(運転・リフトについて)	2
職員研修(介助方法) 全7回	51
職員研修(腰痛予防)	9
職員研修(個人情報保護)	10
職員研修(虐待防止)	12

② 内部検討委員会の実施

今後の介護保険事業に対する方向性を検討するための検討会を実施した。

- ・開催日：令和5年2月15日（1回目）
令和5年3月17日（2回目）

(8) 地域活動支援センター事業拠点区分

地域活動支援センター事業の実施

日常生活を営む際に支障がある障害者等に対して、機能訓練、社会適応訓練、更生相談、介護方法の指導、創作的活動、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

また、新規利用者には、家庭訪問を行い利用者家族等から生活状況の聞き取りを行うとともに、利用者に関する支援について相談支援事業所等の関係機関との情報共有の機会を設け、利用者の機能回復や利用ニーズの把握に努めた。

ア 利用状況

実利用者数：54人、延べ利用者数：2,852人

	1級	2級	3級	4級	6級	知的	精神	医療	合計
延べ利用者数	1,125	928	328	89	36	94	188	64	2,852
新規利用者数	1				1		4	1	6

※身体障害者手帳のほかに重複して手帳を所持している利用者については、身体障害者手帳の等級で集計

イ 事業利用者に関する関係機関との情報共有

障害者相談支援センター、市社協CSWとの利用者の生活課題等の共有の機会として、ケア会議、担当者会議等へ参加 34回

ウ 研修会の実施及び参加

介護技術の習得、専門性の確保を目的に外部研修や職員間で研修を行った。

名 称	参加者
障害のある方のための福祉用具の有効活用 オンライン研修	1
障害の理解とリハビリテーション オンライン研修	1
埼玉県地域リハビリテーション支援セミナー オンライン研修	1
国際福祉機器展	1
虐待防止 オンライン研修	1
職員研修（運転・リフトについて）	1
職員研修（介助方法）全3回	14
職員研修（腰痛予防）	9
職員研修（個人情報保護）	13
職員研修（障害者虐待防止）	13

エ 障害者と高齢者のデイサービス事業との交流

通所介護が行うアクティビティに地域活動支援センター利用者が参加し、交流を図った。

- ・ゲームや音楽鑑賞などレクリエーション等：延べ20人
- ・健康マーじゃん：延べ40人

(9) 福祉サービス利用援助事業拠点区分

福祉サービス利用援助事業の実施

県社協から福祉サービス利用援助事業の委託を受け、高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方へ、福祉サービス利用の手続きや日常生活に必要な金銭管理等の支援を行った。

ア 支援

・問合せ、相談 (単位：件)

対象区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合計
問合せ	37	11	33	17	98
相談	14	4	11	0	29
合計	51	15	44	17	127

・延べ契約者数、契約廃止者数、年度末契約者数 (単位：件)

対象者	前年度(継続)	新規	解約	年度末契約数
高齢者等	12	2	3	11
知的障害者	13	1	1	13
精神障害者	18	1	2	17
その他	3	0	0	3
合計	46	4	6	44

イ 研修

専門員、生活支援員の資質の向上を目的に研修を行った。

・市社協主催支援員研修会

開催日	場 所	内 容
7月14日	総合福祉センター	生活支援員基礎研修及び情報交換

・全社協主催 専門実践力強化研修会

10月4日 配信 対人援助の基礎知識・事例検討ほか

・県社協専門員基礎研修

6月20日 オンライン 専門員業務の進め方

・県社協主催専門員専門研修会

3月1日 オンライン 死後の手続き及び情報交換

・県社協地域権利擁護推進会議（第3ブロック）研修会

6月13日 鶴ヶ島市社協 事例検討及び情報交換

・県社協専門員会議

2月24日 オンライン 年度末の事務手続きほか

(10) 生活福祉資金貸付事業拠点区分

① 生活福祉資金等の貸付（県社協受託事業）

低所得世帯に対する貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額（円）
生活福祉資金（特例貸付除く）	13	6,709,000

② 特例貸付（県社協受託事業）

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金に困窮する世帯（外国籍の方含む）に対する特例貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額（円）
緊急小口資金	315	62,230,000
総合支援資金	314	163,680,000
合 計	629	225,910,000

※総合支援資金は、延長及び再貸付の決定数を含む。

◎参考 令和2年3月から令和4年9月までの特例貸付累計

資金種別	決定件数	金額（円）
緊急小口資金	4,008	778,334,000
総合支援資金	5,161	3,240,270,000
合 計	9,169	4,018,604,000

(11) 小口資金貸付事業拠点区分

① 小口資金の貸付

低所得世帯等の生活の安定を図るため、次の貸付を行った。

資金種別	件数	金額 (円)
福祉資金	0	0
安定資金	373	8,693,000
合 計	373	8,693,000

② 滞納者に対する督促状発送

資金種別	11月発送(件)	住所調査(件)
福祉資金	19	4
安定資金	226	33
合 計	245	37

③ 償還、未償還（欠損分を除く）

資金種別	償 還		未償還	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
福祉資金	0	0	0	0
安定資金	280	6,719,000	91	1,954,000
合 計	280	6,719,000	91	1,954,000

※参考

・ 昭和50年度から令和4年度まで貸付等状況（欠損分を除く）

資金種別	貸 付		未償還	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
福祉資金	1,295	81,683,920	15	708,000
安定資金	8,073	204,310,945	248	5,111,000
合 計	9,368	285,994,865	263	5,819,000

・ 欠損処分の状況

資金種別	件数	金額 (円)
福祉資金	1	40,000
安定資金	9	163,000
合 計	10	203,000

欠損理由：死亡、所在不明等による

（令和4年度貸付分の欠損処分：安定資金2件20,000円）

(12) 相談事業拠点区分

心配ごと相談事業の実施

住民の生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行うために民生委員相当の経験を有する相談員との連携による心配ごと相談事業を実施した。

- ・相談日 毎週火曜日（祝日・年末年始を除く）
- ・時間 午前10時～午後4時
- ・相談員 4人

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生計	3	健康、保健、衛生	14	障害者（児）福祉	3
年金	0	医療	5	母子福祉・父子福祉	0
職業、生業	3	人権・法律	1	高齢者福祉	6
住宅	3	財産	2	苦情	0
家族	6	事故	0	その他	7
結婚	0	児童福祉・母子保健	0		
離婚	1	教育・青少年	0		
				合計	54

（実相談者数 39 人）

(13) かわごえ友愛センター事業拠点区分

① 福祉サービスの充実

ア 在宅福祉サービスセンター（かわごえ友愛センター）事業の充実

住民相互の助けあいによる会員制、有償・有料制の家事援助サービスを実施し、在宅で要援護状態にある高齢者や障害者等に対し、協力会員を派遣し、家事援助等の支援を行い、日常生活の向上を図った。

ア) 会員加入の促進

会員募集などの情報を全戸配布の「社協だより」、「ホームページ」、「各種SNS」に掲載した。申込方法を従来の電話に加え、電子フォームでも申込できるようにした。

イ) 協力会員学習会及び定例会の開催

かわごえ友愛センター現任協力会員に対し、学習会と定例会を開催した。

また、当日会場で参加ができない協力会員に向けて、後日同内容を動画で視聴できるようにした。

・配信媒体等：YouTube 動画配信、DVD 貸出等

開催日	内容	参加者数
11月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を支える地域包括支援センターの役割について 定例会（業務連絡、事故注意喚起等） 	16

ウ) 友愛センター会員状況

・会員登録状況

会員別	登録者数	前年比
利用会員	350	+52
協力会員	193	+33
賛助会員	48	△17
計	591	+68

・派遣状況

項目	活動状況
実利用人員（人）	185
派遣日数（日）	340
派遣時間（時間）	6,988.5
実派遣人員（人）	98
派遣回数（回）	4,520

・利用状況及び利用者数

利用会員内訳	登録者数	実利用者数
一人暮らしの高齢者	149	71
高齢の夫婦世帯	71	43
高齢者を含む世帯	71	43

認知症	1	0
身体障害児・者	24	11
知的障害児・者	2	1
精神障害児・者	3	2
精神疾患（手帳なし）	5	4
病気・けが等の事由	7	2
妊産婦・児童	16	7
その他	1	1
合計	350	185

イ 福祉車両、短期車椅子等貸出事業

(ア) 福祉車両貸出事業

日常車椅子を使用している方や外出の際に車椅子を必要とする方に社会参加の交通手段として、福祉車両の貸出を行った。

- ・車両保有台数：スロープ式軽自動車1台（ダイハツタント）
- ・貸出件数：27件

(イ) 短期車椅子貸出事業

外出時に車椅子を必要とする高齢者や障害児(者)及び福祉団体等に車椅子の貸出を行った。

- ・車椅子保有台数：48台（大人用44台、子ども用4台）
- ・貸出台数：198台 個人195台、団体3台

(14) 生活管理指導員等派遣事業拠点区分

生活管理指導員等派遣事業の実施

介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に対して、要介護状態への進行予防を図るため、日常生活に対する指導と家事援助等のサービスを提供した。

ア 利用状況

- ・実利用者数：21人 延べ利用者数：840人
- ・サービス提供時間数 延べ840時間
内訳：生活管理指導員 175.5時間 生活援助員 664.5時間

イ 職員研修

接遇について
食中毒予防について
熱中症対策について
腸内環境について
感染症対策について
災害への備えについて
防犯研修
倫理・法令遵守について
負担の少ない身体の使い方について

(15) 盲人ガイドヘルパー派遣事業拠点区分

盲人ガイドヘルパー派遣事業の実施

重度視覚障害者に盲人ガイドヘルパーを派遣し、社会生活を営む上での外出援助を行い、社会活動の拡大を図った。

ア 登録状況

種 別	登録者数	前年比
盲人ガイドヘルパー	41	△3
利用者	60	△2
合 計	101	△5

イ 派遣実績

派遣件数：713 件 派遣時間数：1,530 時間

ウ 現任研修会の開催

現任盲人ガイドヘルパーに対し、研修会を開催した。また、当日会場で参加ができないガイドヘルパーに向けて、後日同内容を動画で視聴できるようにした。

配信媒体等：YouTube 動画配信、DVD 貸出等

開催日	内容	参加者数
12月23日(金)	<ul style="list-style-type: none">・フォローアップ講座～ガイドヘルプの基礎の振り返り～（座学・実技）・事務局からの連絡（実績報告、注意喚起等）・意見交換	10

(16) 障害者虐待防止対策支援事業拠点区分

障害者虐待防止対策支援事業の実施

障害者虐待に関する届出の受理、障害者及び養護者に対して、相談及び助言、障害者虐待防止及び養護者に対する支援を行うとともに広報啓発活動を行った。

ア 相談・通報対応件数（実数）

- | | |
|-----------------|------|
| ・ 障害者虐待が疑われる通報 | 14 件 |
| ・ 障害者虐待が疑われない通報 | 16 件 |
| ・ その他の通報 | 4 件 |
| ・ 合計通報件数 | 34 件 |

イ 障害者虐待防止出張講座の実施（コ縮小）

- ・ 研修資料配布：1 回、30 人

ウ 障害者虐待防止センター周知啓発の実施

- ・ チラシ配布：4 回、82 人

(17) コミュニティソーシャルワーカー事業拠点区分

コミュニティソーシャルワーカー事業の実施

市からコミュニティソーシャルワーカー配置事業の委託を受け、各地区2名体制で多機関と連携しながら個別支援を行った。

また、重層的支援体制整備事業において、本会ではアウトリーチ等を通じた継続的支援事業と参加支援事業を担い、重層的支援会議で支援者の支援プラン作成や評価に携わるとともに支援を行った。

ア 圏域別件数

圏 域	対応件数	
	個別支援(件)	地域支援(件)
第1、第2、第4、山田	201	104
第5、第6、第7、第8	850	271
第3、第9、第10	55	60
芳野、古谷、南古谷	110	153
高階	628	184
第11、福原	287	506
大東	92	67
霞ヶ関、川鶴	119	62
霞ヶ関北、名細	264	128
その他	27	10
合 計	2,633	1,545

イ 相談室別件数

相談室	対応件数
東部地域ふれあいセンター	1件
大東市民センター	6件
西後楽会館	0件
ジョイフル	5件
U PLACE	0件
西文化会館（メルト）	2件
合 計	14件

ウ 重層的支援体制整備事業による支援

支援対象者：2名

(18) 介護支援いきいきポイント事業拠点区分

介護支援いきいきポイント事業の実施

川越市内在住の65歳以上の高齢者の方が、自身の介護予防を目的に高齢者介護施設等において利用者への支援活動（ボランティア活動）を実施した場合にポイントを付与し、活動の奨励金若しくは川越市の特産品と交換できる事業を実施した。

ア 対象者向け登録者研修会 (単位：人)

開催日	場所	参加者	登録者	新規保険加入者数
4月～3月	社協窓口	16	16	6
合 計		16	16	6
登録者累計			513	

イ 受入機関 (単位：事業所)

	4年度	累計
新規登録事業所数	0	116
実受入事業所数	18	

ウ 活動内容 (単位：人)

① レクリエーション等の指導、参加支援	201
② 施設の催事に関する手伝い（模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露等）	11
③ 散歩、外出、屋内移動の補助	0
④ 話し相手、傾聴、朗読	184
⑤ お茶出し、食堂内での配膳・下膳等の軽微な業務の補助	212
⑥ 施設職員とともに行う軽微かつ補助的な作業（清掃・草刈の補助、洗濯物の整理等）	511
⑦ オレンジカフェに係る傾聴、配膳、レクリエーション指導等の補助	117
合 計	1,236

エ コロナ禍での活動受入施設の周知

コロナ禍でも支援活動を受け入れている施設に感染対策の工夫等を訪問取材し、その内容を受入機関に周知した。

(19) 生活支援体制整備推進事業拠点区分

地域における支え合いの体制づくりを推進するため、生活支援サービス等の充実及び強化を図った。

① 第1層圏域（市内全域）

第1層生活支援コーディネーターを1名配置した。

ア 地域づくり推進ネットワーク会議の開催

住民主体の福祉活動団体や福祉関係機関等を対象に、日本福祉大学の原田正樹教授による講演と参加団体による情報交換会を実施した。

開催日：令和4年9月6日（火）

会 場：ウエスタ川越

参加者：50人

イ 地域共生社会フォーラムの開催

地域住民、地域福祉関係団体及び福祉関係機関等を対象に、医療法人真正会の斉藤理事長による講演と新宿町五丁目自治会の地域福祉活動実践報告を実施した。

開催日：令和5年1月20日（金）

会 場：ウエスタ川越

参加者：約200人

ウ 助け合い活動団体によるネットワーク会議の開催

市内で助け合い活動を行っている住民主体の団体を対象に、活動状況等の情報交換会を実施した。

開催日：令和5年3月20日（月）

会 場：ウエスタ川越

参加団体：9団体・15人

エ 地域の公益的な取組推進研修会の開催

市内の社会福祉法人を対象に、地域の公益的な取組みについて、意見交換を行った。

開催日：令和5年3月20日（月）

会 場：ウエスタ川越

参加者：9法人・14人

オ 第1層協議体の運営支援

第1層及び第2層生活支援コーディネーターの活動報告を行うとともに委員となっている各団体と情報交換を行った。

カ 保健・医療・福祉の連携

コミュニティケアネットワークかわごえ主催の研修会やフォーラムへ参加した。

第10回医療介護フォーラム 令和4年10月2日（日）

キ 助け合い活動の手引きの作成

市内で活動している助け合い活動団体（9団体）の意見を参考に、助け合い活動の手引きを作成した。

ク フードドライブの実施

市内で行われたイベント時にフードドライブを実施し、集まった寄付物品等を市内のこども食堂等に配布した。

② 第2層圏域（川越市自治会連合会の支会単位）

第2層生活支援コーディネーターを9人配置した。

ア 地区会議への参加等

地域の課題や地域資源を把握するため、各地区で行われる会議等に参加した。また、関係機関と連携しながら、把握した社会資源と要支援者とを繋いだ。

内 容	件数
地区社会福祉協議会会議及び事業等への参加	299回
各地区民生委員・児童委員協議会定例会等への参加	304回
各自治会会議等への参加	76回
サロンへの参加	258回
自主グループへの参加	92回
子どもの居場所への参加	154回
生活支援サービスへの参加	21回
地域包括支援センター関係の会議等への参加	151回

イ シニアeスポーツ普及事業の実施

eスポーツを活用した居場所づくりの支援を行った。

市内51か所

ウ 立上げ支援を行ったサービスや多世代交流の場の支援

実施団体	内 容	地区
お庭の文庫	こどもの居場所づくり	第4地区
メイプルファーム	こどもの居場所づくり	第7地区

憩いの場すばる	サロン	第8地区
S T F ネットワークス合同 会社 こどもの未来応援団	パントリー	第10地区
陽だまり広場	高齢者サロン	第11地区
シルバーレクリエーション クラブ	サロン	南古谷地区
助っ人クラブみよしの	家事支援サービス	川鶴地区

エ 子ども食堂への支援

寄付物品を市内の子ども食堂等に迅速に配布するため、オンラインスプレッドシートを導入した。

オ 地域福祉活動支援補助金の交付 【再掲】

市内の地域活動団体に対し、補助金を交付した。

29 団体 補助金総額 1,297,300 円

(20) 老人福祉センター西後楽会館事業拠点区分

① 老人福祉センター西後楽会館の管理、運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務を行った。

ア 施設の利用状況

開館日数		294 日
利用者総数		9,321 人
内	男 性	6,049 人
	女 性	3,272 人
訳	個 人	9,319 人
	団 体	(0 団体) 0 人
訳	市内 (公共施設相互利用及び有料者含)	9,319 人
	市 外	2 人
健康相談 (医師・看護師)		504 人
送迎バス (地区巡回・団体ともに運休)		(0 台) 0 人
内 訳	老人クラブ等団体	(0 台) 0 人
	地区巡回	(0 台) 0 人

※公共施設相互利用とは、埼玉県川越市圏まちづくり協議会を構成する川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、川島町、毛呂山町、越生町、日高市（日高市は協議会からは脱退したが相互利用に関しては継続）で、市民と同じように公共施設を利用できるもの。

イ 施設の維持管理

(ア) 修繕の状況

No	修 繕 箇 所	No	修 繕 箇 所
1	屋上消火栓補給水槽点検用 ハッチ修繕	4	大広間系統空調機ドレン管修繕
2	消防設備 (避難口灯) 修繕	5	屋内消火水槽ボールタップ修繕
3	消防設備 (通路灯) 修繕	6	屋内消火水槽仕切弁修繕

② 事業及び行事等の実施

ア 指定管理事業

(ア) 実施事業

相談事業	医師による健康相談	12 回 延べ 58 人
	看護師による健康相談	92 回 延べ 446 人
	心配ごと相談員による生活相談	12 回 延べ 16 人
川越市民の日	施設無料開放 12 月 1 日 (木)	
その他協賛事業等	交通安全運動広報 (館内放送) 「コ中止」	

(イ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業

団体受入れ	未実施「コ中止」
定期事業	将棋大会、囲碁大会、バンパー大会 「コ中止」
季節行事等	七夕飾り付け、節分豆まき 「コ中止」
敬老の日	特別事業（会館はするも事業は未実施）「コ縮小」
世代間交流	未実施「コ中止」

イ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置

感染症拡大防止のため、次の措置等を行った。

内容：・開館時間を午前 9 時 30 分から午後 4 時までを午前 9 時 30 分から午後 3 時までと短縮。

- ・受付で検温、手指消毒、マスク着用の確認。
- ・風呂の利用を予約制とし、1 人 1 週間で 3 回までの利用。1 日 4 回（10 時から 10 時 40 分、11 時から 11 時 40 分、13 時から 13 時 40 分、14 時から 14 時 40 分）とし男女各 5 名の定員で実施。各回の間には浴室及び脱衣室の消毒作業を実施。
- ・休養室の使用禁止。
- ・囲碁将棋スペースでは、テーブルを用意し人数制限を実施。囲碁盤、将棋盤の貸し出しはしたが、碁石及び駒は持参とした。
- ・大広間は、テーブルを撤去し椅子のみを配置して休憩場所とした。水分補給は可能としたが、食事及び飲酒は禁止とした。
- ・カラオケは、歌い手の前に飛沫防止シートを設置。手指消毒とマイクの消毒を徹底した。

(21) 総合福祉センター事業拠点区分

① 総合福祉センターの管理運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務及び自主事業を行った。

ア 施設の利用状況

- ・開館日数：298日（※前年比120%）
- ・利用者総数：40,016人（男19,598人 女20,418人）（※前年比163%）

※コロナ対策として、臨時の受付を設け検温などを実施し、体調のすぐれない方などには利用を控えてもらった。また、感染拡大防止策として各貸室に手指消毒用ディスペンサーを設置、大広間でのカラオケを一人カラオケとして教養娯楽室で実施。密を避けるため、教養娯楽室での囲碁・将棋をロビーで行うなどの対策を行った。（利用人数は、元々の部屋に反映させている）

（ア）高齢者福祉センター事業

- ・利用人数：利用者数：30,675人（男15,029人 女15,646人）
（※前年比160%）

貸室	人数	貸室	人数
プール	17,161	体育室	5,475
大広間	652	浴室	0
教養娯楽室	197	第1研修室	1,730
第2研修室	2,014	社会適応訓練室	3,372
調理実習室	0	創作室	74
機能回復訓練室	0		

（イ）障害者福祉センター事業

- ・利用人数：9,083人（男4,406人 女4,677人）（※前年比176%）

貸室	人数	貸室	人数
プール	2,551	体育室	3,445
大広間	215	浴室	0
教養娯楽室	40	第1研修室	356
第2研修室	684	社会適応訓練室	1,621
調理実習室	0	創作室	47
おもちゃライブラリー	0	点訳室	124
日常生活訓練室	0	機能回復訓練室	0

（ウ）その他の事業（視察、相談）

- ・利用者数：258人（男163人 女95人）（※前年比90%）
一般利用
- ・プール一般利用（コ中止）
利用者数：0人（男0人 女0人）（※前年比0%）
- ・体育室一般利用（コ中止）
利用者数：0人（男0人 女0人）（※前年比0%）

(エ) サークルの活動状況

- ・団体数：61 団体（※前年比102%）
- ・活動回数：797 回（※前年比136%）
- ・利用人数：延べ8,100人（※前年比134%）
- ・種目：囲碁、将棋、川柳、写真、水墨画、書道、太極拳、健康体操、
社交ダンス、卓球、ボッチャ、サウンドテーブルテニス等

イ 施設の維持管理

(ア) 修繕の状況

No	修 繕 箇 所	No	修 繕 箇 所
1	食堂ゴミ置場水栓取替修繕	22	プールマイクアンプ修繕
2	誘導灯本体・パネル修繕	23	体育室照明リモコンスイッチ修繕
3	プール昇温ポンプ（No.1） オーバーホール修繕	24	消防設備修繕
4	3階男子障害者トイレ温水暖房便座修繕	25	各機器Vベルトの修繕
5	2階男子トイレ小便器自動洗浄 システム修繕	26	中水貯水槽及び高架水槽修繕
6	トイレ手洗自動水栓取付修繕	27	中水貯水槽及び高架水槽修繕
7	浴槽循環配管ボールバルブ修繕	28	中水貯水槽薬注装置修繕
8	特別浴室壁修繕	29	プール薬注ポンプ修繕
9	プール昇温用チラー（No.2） ファンモーター修繕	30	2階看護室照明修繕
10	男女浴槽用滅菌機タンク修繕	31	プール排水ポンプ（No.1）修繕
11	通所介護室ブラインド修繕	32	1階男子トイレ天井水漏れ修繕
12	調理実習室ブラインド修繕	33	プールフロア赤台修繕
13	印刷機修繕	34	男子トイレ小便器自動洗浄 システム修繕
14	2階男子トイレ大便器フラッシュ弁修繕	35	3階事務所・ボランティア室照明修繕
15	3階トイレ足踏み止水栓水漏れ修繕	36	プール親子更衣室すのこ修繕
16	プールオゾン装置修繕	37	理事長室照明修繕
17	プールオゾン装置圧力計修繕	38	団体交流室照明修繕
18	3階相談室ファンコイル修繕	39	3階相談室ドアの木枠修繕
19	特別浴室手すり修繕	40	2階男子給水配管修繕
20	館内コーナーミラー設置修繕	41	誘導灯ランプ修繕
21	食堂厨房休憩室空調機修繕		

② 高齢者福祉センター事業、障害者福祉センター事業の実施

ア 指定管理事業

(ア) 講座の開催

高齢者及び障害者を対象に各種講座を開催し、67 講座に延べ 4,509 人が参加した。(※前年比 199%)

・対象者：60 歳以上の高齢者

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援		0	0
生きがいづくり		0	0
健康の維持増進	シニアヨガ I・II、泳法別バランスボール等	12	1,435
重複等するもの		0	0
合計		12	1,435

・対象者：障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者）

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援	青年学級 I・II、書道等	7	307
生きがいづくり	木工作等	4	87
健康の維持増進	リズム体操、ボッチャ等	10	701
重複等するもの	体育室開放 I・II	2	260
合計		23	1,355

・対象者：高齢者及び障害者同時対象

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援	終活のすすめ、折り紙、実用ペン字等	7	327
生きがいづくり	絵手紙、川柳等	20	1,050
健康の維持増進	モルック、座って 3B 体操等	4	253
重複等するもの	オアシス失語症言語訓練会	1	89
合計		32	1,719

・規模縮小となった事業

対象	講座名	概要
高齢者	水中運動 II	機械トラブルのため 全 6 回中 4 回中止
高齢者及び障害者	はじめての着付け	天候の関係で 全 8 回中 1 回中止
	座って 3B 体操	天候の関係で 全 6 回中 1 回中止

(イ) 心身障害児（者）緊急一時保護事業（コ中止）

対象者：保護者又は家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護を必要とする心身障害児（者）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受入れできず

(ウ) おもちゃライブラリー（コ中止）

対象者：就学前の障害児と保護者

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受入れできず

(エ) 相談事業

身体の悩みを抱えているが、病院に行くことを迷っている方や病院では聞きにくいという方などを対象に、医師による健康相談を毎月1回行った。

また、看護師による健康相談と理学療法士によるリハビリ相談は、随時受付けて行った。

・医師相談

内容：医師による相談

利用者数：利用者数：延べ37人（男20人 女17人）（※前年比119%）

・健康相談

内容：看護師による相談

利用者数：利用者数：延べ152人（男105人 女47人）（※前年比116%）

・リハビリ相談

内容：理学療法士によるリハビリに関する相談、運動メニューの紹介

利用者数：利用者数：延べ43人（男20人 女23人）（※前年比34%）

イ 自主事業

(ア) 一般対象向け講座（インターネット講座）の開催

自宅でそろえられる材料を使った創作活動や軽運動等の講座を、一般の方も参加できるように開催し、9講座に延べ92人が参加した。

(イ) 血圧測定会（コ中止）

月に1回、看護師が利用者に対して血圧測定を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(ウ) 爪切り事業

自身で爪切りが困難な方を対象に、看護師が爪切りをすることで爪のケアなどの指導を行い、利用者サービスの向上を図った

・利用者数：延べ136人（男57人 女79人）（※前年比219%）

(エ) リハトレパーク

リハビリテーションを行う場がない方を対象に、トレーニング等を行う場を提供することで、健康の維持増進や積極的な社会参加の促進を図った。

・利用者数：延べ386人（男294人 女92人）（※前年比114%）

(オ) オアシス毎日体操

ラジオ体操をすることで、参加者の体力向上、健康の維持増進を図った。

・利用者数：延べ1170人（男402人 女768人）（※前年度比なし）

(カ) オアシスサロン

気軽に立ち寄れる場所、活動を共にする仲間をつくることで自宅以外の場
ができ、引きこもりの予防を図った。

- ・利用者数：延べ64人（男27人 女37人）（※前年度比なし）

ウ その他の事業等

(ア) ボランティアの活動状況

- ・内容：障害者のスポーツ支援
人員：延べ44人（※前年比367%）
- ・内容：障害者のその他事業支援
人員：延べ20人（※前年度比なし）
- ・内容：大広間支援
人員：延べ33人（※前年度比なし）

(イ) 視察等の受け入れ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れできず

(ロ) 協賛事業等（コ中止）

例年行っている川越市敬老マッサージや川越市クールシェアスポット等
は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れできず。

(ハ) 事業運営に向けてのスキルアップ研修への参加

外部研修

名 称	参加者
社会福祉施設災害研修 オンライン研修	1
中堅職員キャリアパス研修 オンライン研修	1
チームリーダーキャリアパス研修 オンライン研修	1
初任者キャリアパス研修 オンライン研修	1
社会福祉実習指導者講習会埼玉県会場 オンライン研修	1

2 公益事業区分

(22) 法人後見事業拠点区分

個人で受任するのが難しく、他に適切な候補者がいないと判断された人の後見人等として、受任した方が安心した生活を送ることができるよう、定期的な訪問で生活状況を確認し、必要なサービス等が受けられるよう支援を行った。

① 法人としての後見等受任

社会福祉法人川越市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱に基づき、法人として後見等受任や監督を行った。

・推薦依頼件数

推薦経緯	件数
市高齢者いきがい課	1
市障害者福祉課	0
その他	0
合計	1

・受任件数

類型	高齢者（生保）	障害者(生保)	件数
後見類型	5(2)	9(3)	14
保佐類型	4(1)	2(2)	6
保佐監督	0(0)	1(0)	1
合計	9(3)	12(5)	21

② 市民後見人に関すること

- ・市民後見人養成講座を修了した法人後見支援員の活動を支援した。

③ その他、法人後見の推進に関すること

ア 法人後見事業協議会を開催

- ・開催回数：4回
- ・場所：総合福祉センター

イ 成年後見に関する研修等に参加

- ・場所：Zoom オンライン研修
- ・参加回数：10回

(23) 成年後見制度推進事業拠点区分

成年後見制度の利用促進のため、制度の周知啓発・制度利用や後見人等の相談に応じたほか、申立の支援などを行った。

① 広報、普及啓発

ア リーフレットの配布

- ・配布回数：5回
- ・配布枚数：16,753枚

イ 市民や福祉関係事業所等に向けた研修の開催

- ・出前講座開催回数：9回
- ・延べ参加者数：171人

ウ 成年後見公開講座の開催

- ・日時：7月9日(土)
- ・場所：ウェスタ川越
- ・講師：松本弥生弁護士
- ・内容：成年後見制度について知ろう
- ・参加人数：70人

② 相談対応及び成年後見制度の利用支援

ア 社協職員が制度利用に関する相談

- ・延べ相談件数：629件

イ 法律の専門家が応じる定期的な成年後見相談所の開催

- ・開催回数：24回
- ・相談件数：32件

ウ 個々の事情に応じた制度利用支援

後見制度の申立を検討している方に対して、職能団体を通じた申立支援を案内する等の支援を行った。

③ 後見制度の担い手育成

市民後見人等地域の担い手育成を目的とした研修等を実施した。

ア 成年後見入門講座の開催

- ・開催回数：8回
- ・延べ参加者数：66人

イ 成年後見応用講座の開催

- ・開催回数：4回

- ・延べ参加者数：47人

ウ 市民後見人養成講座修了者向けフォローアップ研修の開催

- ・開催回数：2回
- ・場所：総合福祉センター
- ・参加人数：34人

エ 市民後見人養成講座修了者への福祉関係の情報提供

- ・提供回数：12回
- ・延べ提供者数：489人

④ 成年後見センター運営委員会の設置

成年後見センター運営委員会の設置運営にかかる庶務

- ・運営委員会の開催回数：4回
- ・場所：医師会館、総合福祉センター

⑤ 成年後見センター協議会の設置

専門職団体・市・医療・介護・福祉関係者・法律関係者が連携協力する体制づくりを目的とした協議会の設置運営にかかる庶務

- ・協議会の開催回数：2回
- ・場所：医師会館、総合福祉センター

⑥ その他成年後見制度の利用支援に関し必要な事項

運営委員会、協議会、受任者調整、後見人等に対するチーム支援、地域連携ネットワーク構築等に向けた基盤づくり

- ・市、自治会、他機関、多職種等との打ち合わせなど：17回